

SP Widget V3.0

ユーザーマニュアル

目次

1. 知的財産ならびに著作権.....	3
2. 製品紹介.....	4
3. 推奨動作環境.....	4
4. はじめに.....	5
4.1 SP Widget の起動.....	5
4.2 SP Widget メイン画面.....	6
4.3 機能の紹介.....	7
5. “プロジェクトのバックアップ” 機能.....	10
5.1 プロジェクトのバックアップ.....	10
5.2 プロジェクトの復元.....	15
5.3 “高速バックアップ”設定.....	17
6. “ファイル暗号化” 機能.....	19
7. “お気に入りのバックアップ”機能.....	25
8. “クラウド上のデータ”機能.....	26
9. “セット”機能.....	29

1. 知的財産ならびに著作権

このユーザーマニュアルは、情報とサービスの為にシリコンパワーージャパン株式会社より提供されるものです。本マニュアル内の文章・画像はシリコンパワーージャパン株式会社に帰属します。（一部著作権は原著者が所有しています）よってこれらの情報の無断転載・複製を禁じます。

免責事項

ソフトウェアならびにサービスはマニュアル作成時点のものを掲載しています。また本ソフトウェアを使用したことによる、パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保障対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

お取り扱いになるデータやファイルは、必ずハードディスク等にバックアップを取っておくことを推奨いたします。

シリコンパワーージャパン株式会社は通知すること無く、本マニュアルの内容を変更する場合があります。

2. 製品紹介

SP Widget はシリコンパワーストレージ製品をより豊かに、より簡単にご利用いただくためのソフトウェアです。バックアップ機能やファイルの暗号化など便利な機能を提供します。

- プロジェクトのバックアップ：バックアップの予約
- データの暗号化：ファイルの保護とデータ暗号化
- お気に入りのバックアップ：Internet Explorer や Google Chrome のお気に入りバックアップと復元.
- クラウド上のデータ：クラウドストレージに格納されたデータの管理

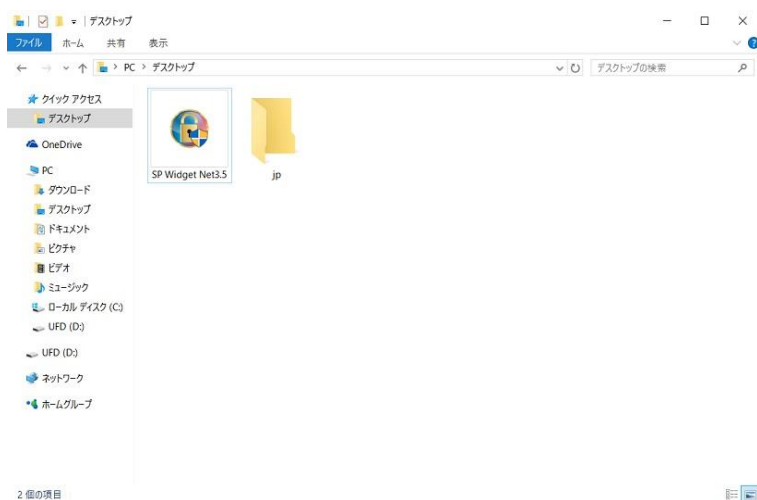
3. 推奨動作環境

- OS : Microsoft Windows 10/ 8.1 / 8 / 7 / XP / Vista
- CPU: Intel Pentium III or faster
- メモリ: 1GB 以上
- HDD 容量: 12 MB 以上

4. はじめに

4.1 SP Widget の起動

まず初めにダウンロードした 2 つのファイルをご確認ください。一つは **SP Widget.exe** これは実行ファイルです。もう一つは **SP Widget User's Manual** ユーザーマニュアルです。**SP Widget.exe** はダブルクリックすると自動的に解凍されます。
(4.1.1.参照)



4.1.1

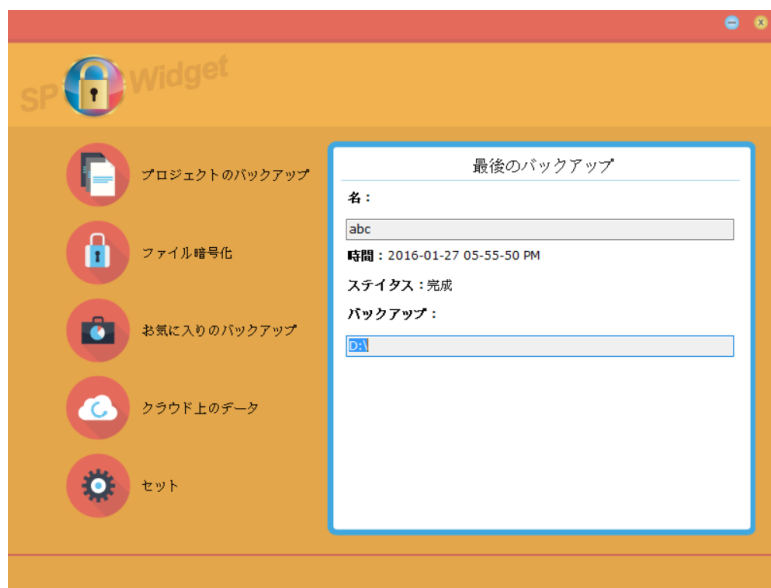
SP Widget はダブルクリックすると解凍を始め、進捗状況を確認することができます。
(4.1.2.参照)



4.1.2

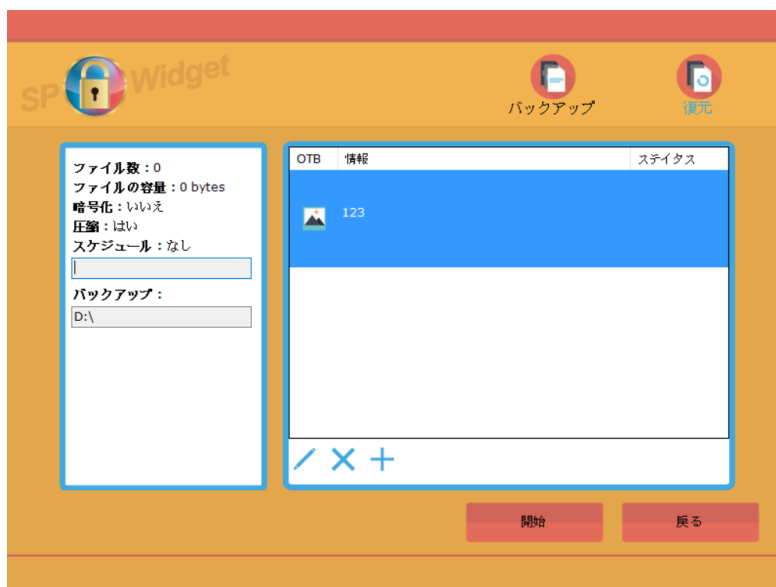
4.2 SP Widget メイン画面

SP Widget を起動すると下図の画面が立ち上がります。(4.2 参照)
画面左側に機能選択、右側に前回のバックアップ結果が記録されています。

**4.2**

4.3 機能の紹介

“プロジェクトのバックアップ”をクリックすると、バックアップの方法を設定したりデータを復元することができます。バックアップの設定については、定期的に自動でバックアップをとるように設定したり、手動でバックアップするように設定することもできます。(4.3.1.参照)



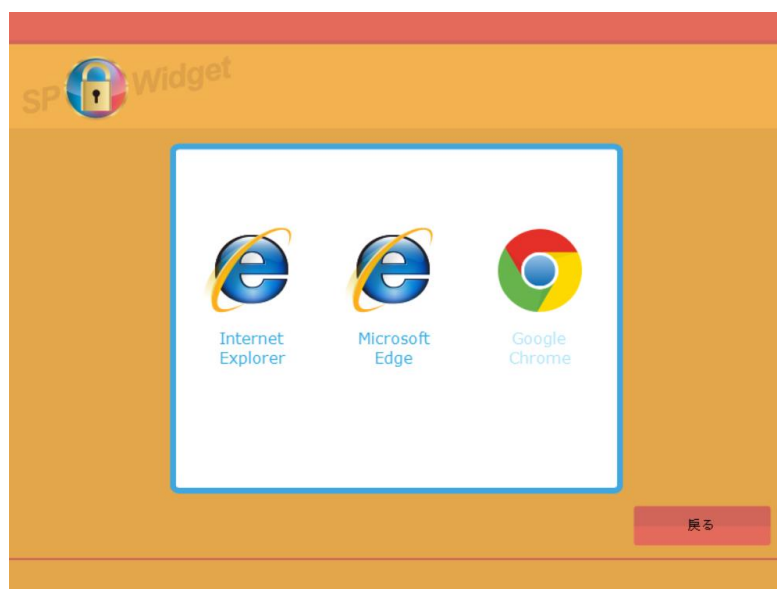
4.3.1

“ファイル暗号化”をクリックするとデータの暗号化・解読することができます。暗号化機能により他人のアクセスからファイルを守ることができます。(4.3.2.参照)



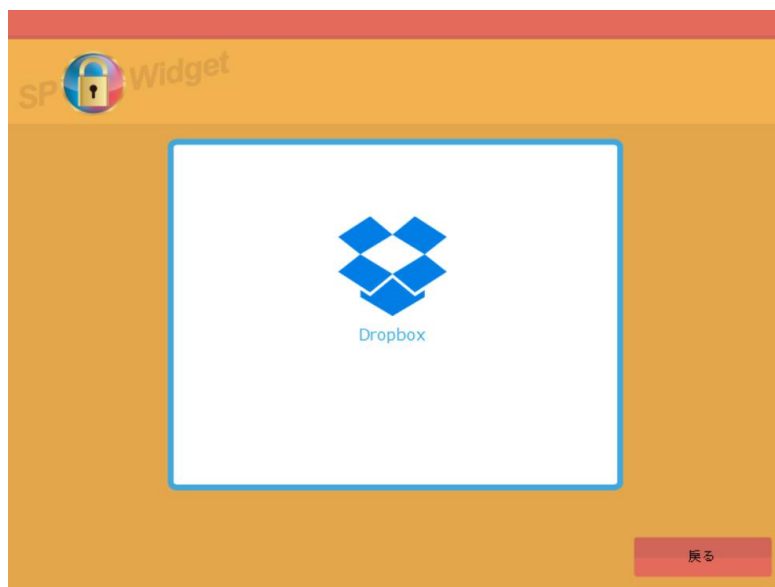
4.3.2

“お気に入りのバックアップ” をクリックするとお気に入り設定のバックアップや復元ができます。(4.3.3.参照)



4.3.3

“クラウド上のデータ” をクリックすると瞬時にクラウドに保存されたデータを管理できます。(4.3.4.参照)



4.3.4

“セット”をクリックすると言語の選択や、ユーザーマニュアルの閲覧やダウンロードができます。(4.3.5.参照)



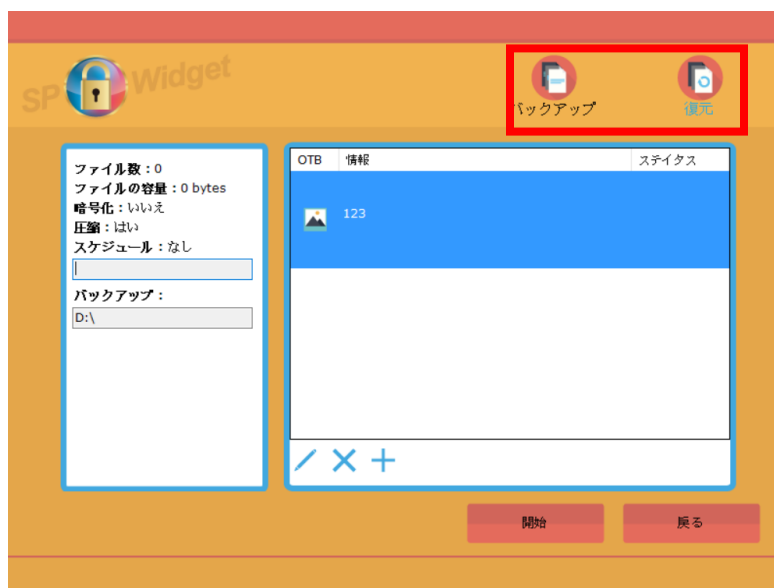
4.3.5

5. “プロジェクトのバックアップ”機能

5.1 プロジェクトのバックアップ

“プロジェクトのバックアップ”のページに入ると、右上に2つのアイコンがあります。左からバックアップ、復元のアイコンです。

“バックアップ”をクリックするとスケジュール化したバックアップリストが表示されます。リストから一つのバックアップを選択すると左側のウィンドウで簡単な内容を確認できます。さらにウィンドウの下部にある3つのアイコンをクリックしてバックアップスケジュールを管理することができます。3つのアイコンは左から“編集”、“削除”、“追加”です。さらに操作を続行する場合に右側のリストからプロジェクトを選択してください。(5.1.参照)



5.1

“追加”アイコンをクリックしバックアップウィンドウが表示された後、下記のステップに従ってください。

ステップ 1/4: バックアップをする

バックアップに名前を付ける（バックアップ名とコメントを入力）そして5つのセットアップオプションについて確認。（5.2 参照） セットアップオプションは下記の通り。

- ◆ オプション 1: このバックアップ機能を使用する度に過去のコピーを削除します。
過去のバックアップも保存したい場合はチェックしないでください。
- ◆ オプション 2: デスクトップにバックアップのショートカットを作成。
- ◆ オプション 3: ワンタッチバックアップをオンにする。
- ◆ オプション 4: バックアップを圧縮する。
- ◆ オプション 5: パスワードを設定する。

タスクネームと暗号の編集

名 123
半角48文字まで（\/:*?の記号は使えません）

コメント

バックアップ先を選択してください

タスクのスケジュール

☐ タスクを始める前に過去のコピーを削除する

☐ バックアップのショートカットをデスクトップに置く

☒ オープンOne Touch Backup機能

☒ バックアップを圧縮する

☐ パスワードの設定

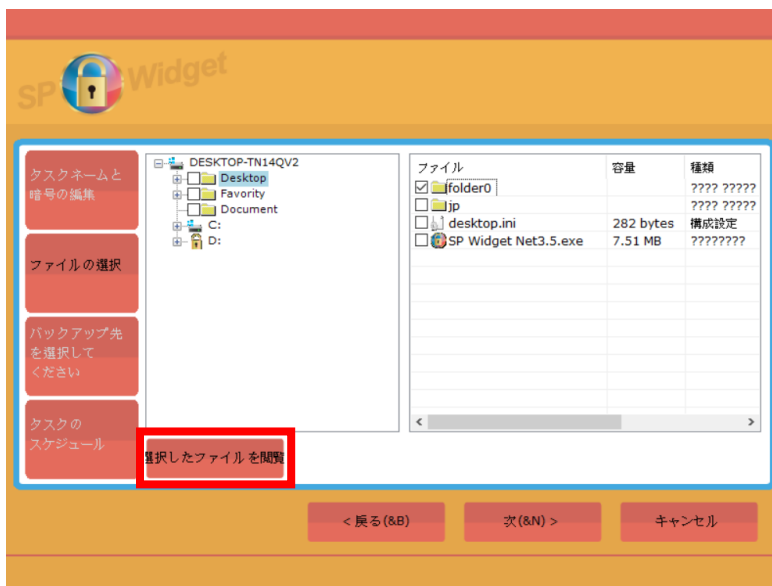
次 (>) > キャンセル

5.2

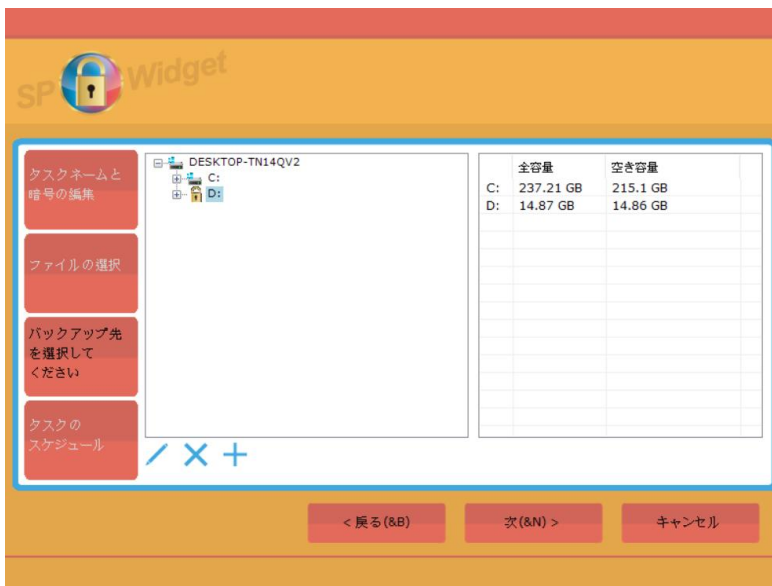
ステップ 2/4: バックアップするファイルを選択

バックアップしたいファイルやフォルダーを選択してください。(5.3.参照)

赤枠で印した“選択ファイルを閲覧”をクリックすると選択したドキュメントやファイルを確認できます。

**5.3****ステップ 3/4: バックアップの保存先を選択**

バックアップの保存先を選択します。右側のウィンドウに保存先として選択したディスクの容量が表示されます。(5.4.参照)

**5.4**

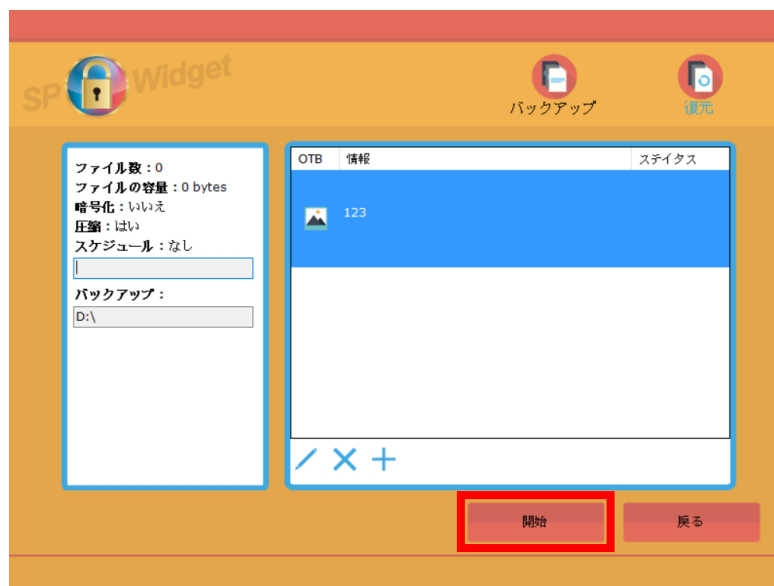
ステップ 4/4: スケジュール化

定期的なバックアップをスケジュール化するには、自動バックアップの設定を行います。この機能を使用しない場合は手動でバックアップをとる必要があります。自動バックアップは3つの設定から選ぶことができます。**Daily** (毎日決まった時間になるとバックアップをとる) **Weekly** (毎週決まった曜日・時間になるとバックアップをとる)そして **Monthly** (毎月決まった日、時間になるとバックアップをとる) “完成”アイコンを押すと設定完了です。(5.5.参照)



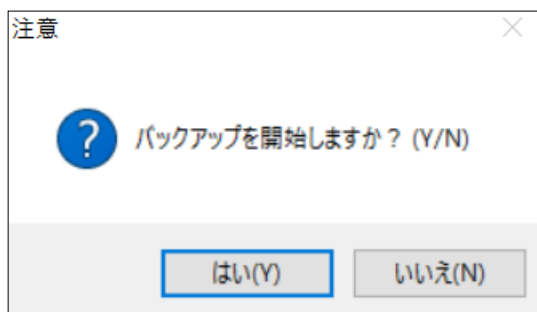
5.5

手動でバックアップを行いたい場合は、“プロジェクトのバックアップ”の画面に戻り、バックアップしたいデータを選び “開始”を押してください。(5.6.参照)



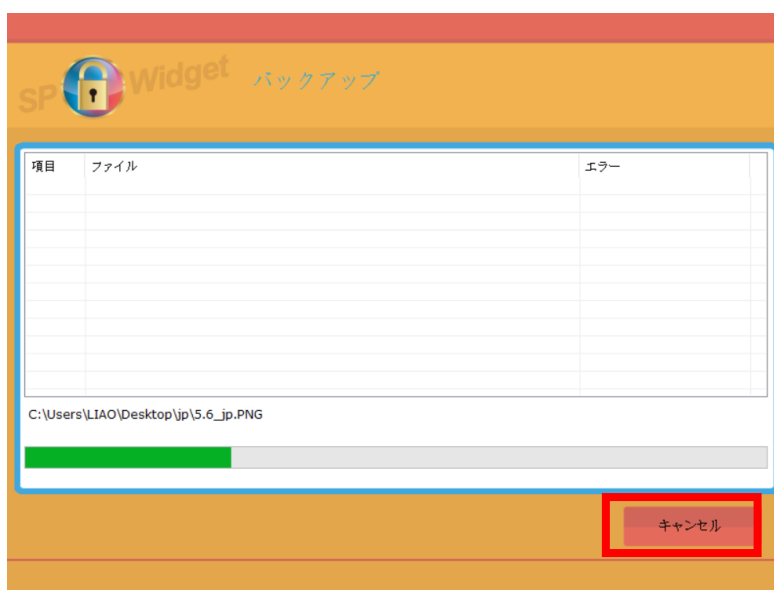
5.6

ポップアップウィンドウでバックアップの準備が出来たかどうか判ります。バックアップを開始して良い場合は“はい”をクリックしてください。
ポップアップウィンドウは 5.7.参照



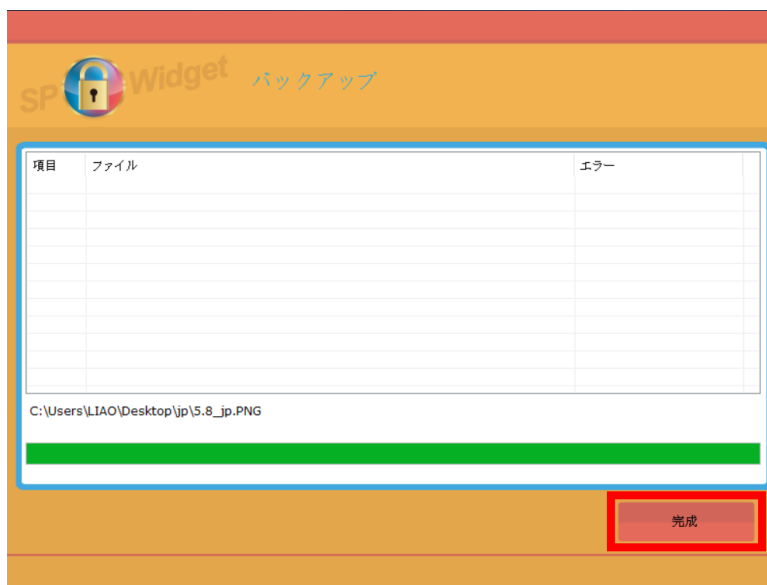
5.7

バックアップを中止したい場合は“キャンセル”を押してください。バックアップ中にエラーが発生するとリスト化されます。(5.8.参照)



5.8

バックアップ終了したら“完成”を押してください。(5.9.参照)



5.9

5.2 復元

バックアップデータの復元を行いたい場合は、“復元”アイコンをクリックし“プロジェクトの復元”ページへ入ってください。復元したいバックアップを選択し “開始”をクリックしてください。(5.10.参照)



5.10

復元したいファイルを選択し“復元”をクリック。(5.11.参照)

時間	ファイルの容量	暗号化	圧縮	バックアップ
2016-02-03_14-30-10	850.18 KB	いいえ	はい	D:
2016-02-03_14-31-34	850.18 KB	いいえ	はい	D:
2016-02-03_14-32-36	894.65 KB	いいえ	はい	D:

2. リストアを選択する

☒ 元のファイルの場所にリストアする

☐ 任意の場所にリストアする

3. 同じファイル进行处理する

☒ 最新ファイル ☐ コピー ☐ スキップ

復元 削除 戻る

5.11

復元の設定を行うには、以下の手順に従ってください。

ステップ1: 復元したいバックアップファイルを選択

ステップ2: 復元を行う際に2つの確認があります。お好みの方法を選択してください。

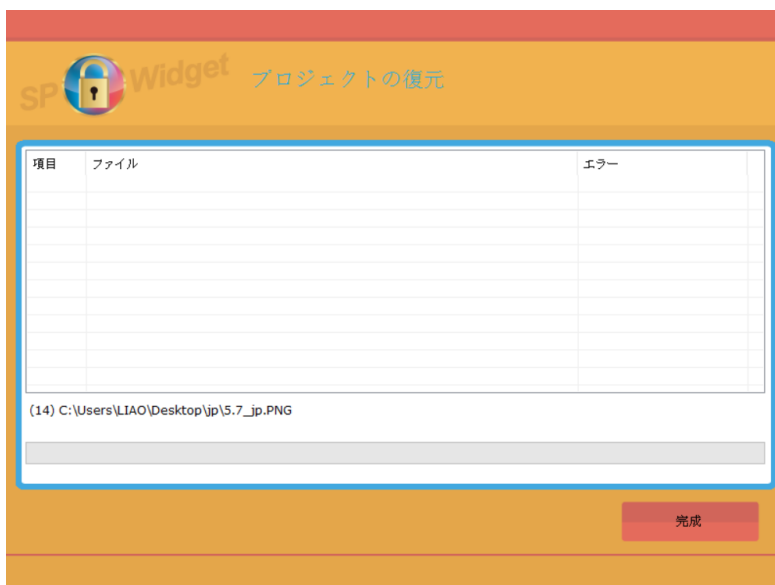
- ◆ 元の場所に復元
(ファイルの元の場所に復元)
- ◆ 元の場所ではなく別の場所に復元
(作成、削除、フォルダ名を変更して別の場所に復元)

ステップ3: 同じ名前のファイルがある場合、次のいずれかの操作を行ってください。

- ◆ 最新のファイルを復元—ファイル名が同じ場合、最新のファイルが復元されます。
- ◆ 無視する—同じ名前を持つ全てのファイルを復元する。
- ◆ スキップ—復元したいファイルが既に存在する場合、復元操作をスキップすることができます。

すべての設定を終え、続行する場合は“復元”を押してください。

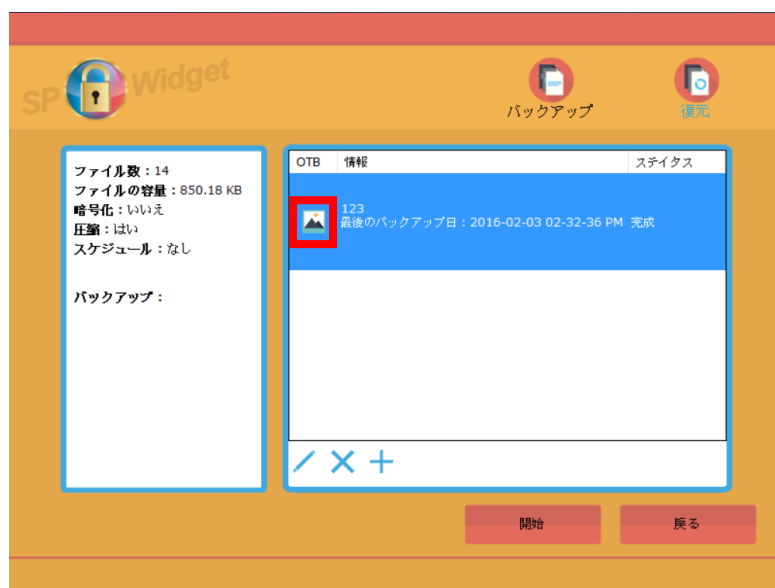
復元が終了したら“完成”を押してください。(5.12.参照)



5.12

5.3 “高速バックアップ”設定

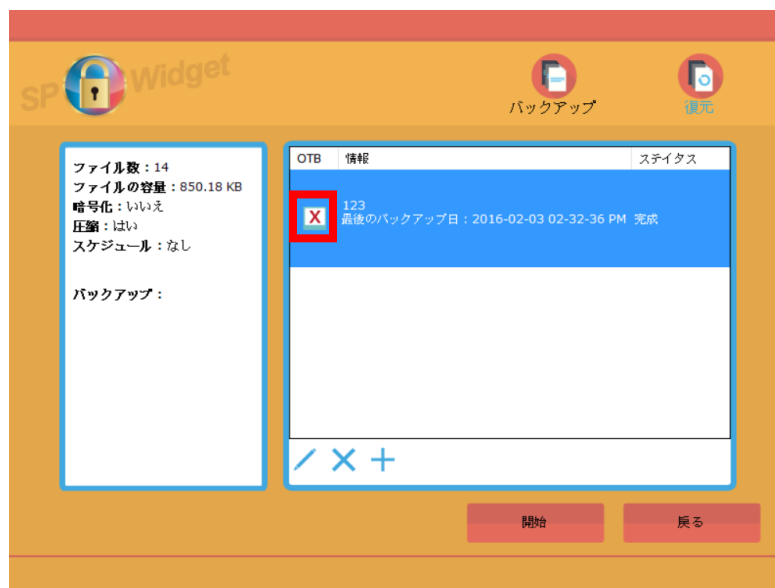
高速バックアップの設定を行うにはバックアップ名の前の四角いアイコンをクリックしてください。すぐに高速バックアップの機能が有効化され“高速バックアップ”の作業を実行するように設定されています。(5.13.参照)



5.13

高速バックアップ機能がサポートされていない製品の場合、バックアップ名の前の四角いアイコンが変わります。（5.14.参照）

注：この設定は高速バックアップ機能が装備された製品でご利用いただけます。



5.14

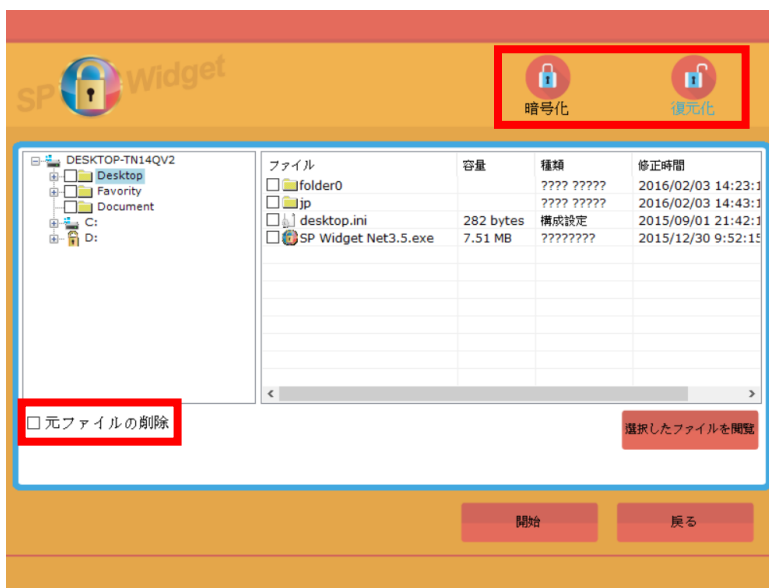
6. “データ暗号化”機能

このデバイスに保存されたすべてのファイルを見るには“データ暗号化”をクリックしてください。右上に“暗号化”と“解読”のアイコンがあります。

“データ暗号化”のページは 6.1.を参照。左側にディスクとフォルダが表示され選択したディスクかフォルダ内のファイルが右側に表示されます。選択したファイル情報は下に表示されます。

暗号化機能は文書またはファイルに適用することができます。暗号化するファイルを選択すると、文書は暗号化されたファイルに暗号化されます。

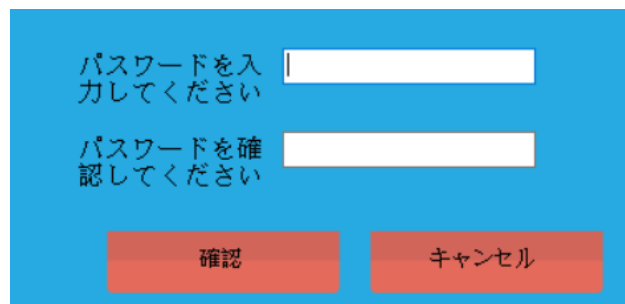
暗号化したいファイルやフォルダを選択し“開始”をクリックしてください。
(6.1.参照)



6.1

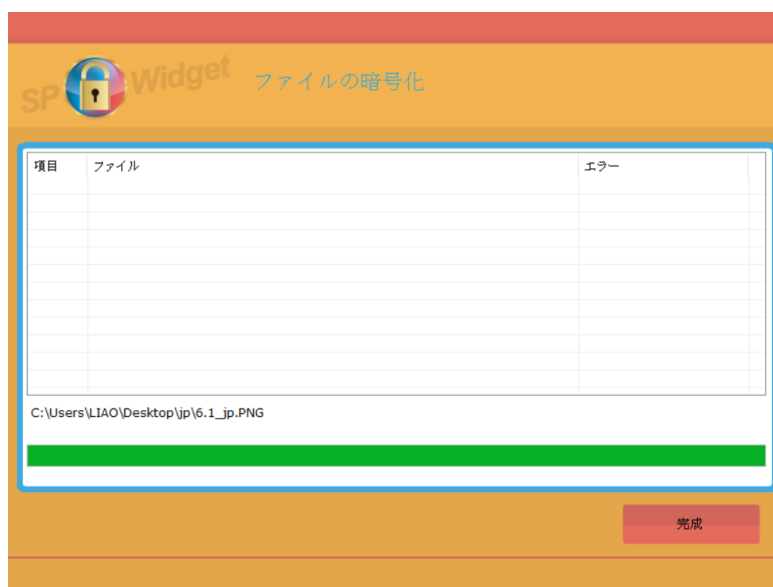
注: デフォルトでは元ファイルは削除されません。元ファイルを保存しない場合は左下の“元ファイルの削除”にチェックを入れてください。

パスワードを求めるメッセージが表示されます。パスワードを入力し確認をお願いします。ここで設定したパスワードは後で暗号化解除に使用されます。パスワード設定のウィンドウは 6.2. を参照。



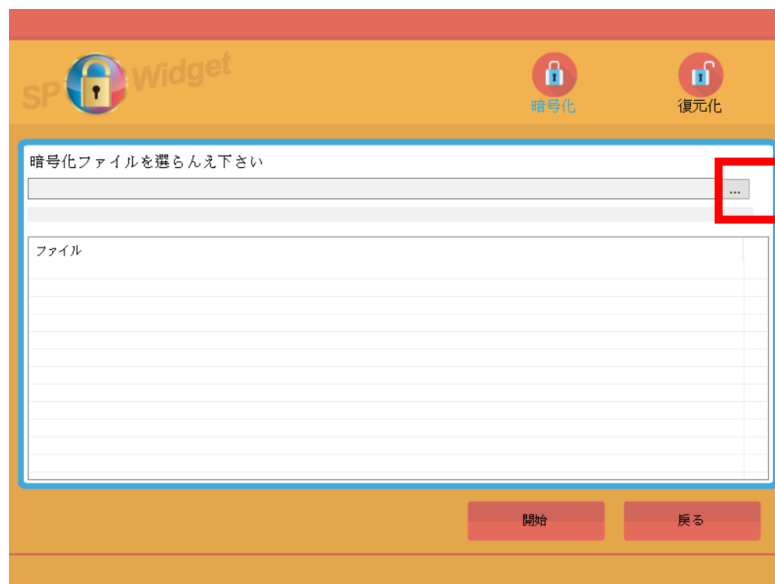
6.2

“確認”をクリックすると、ファイル暗号化がスタートします。(6.3.参照)

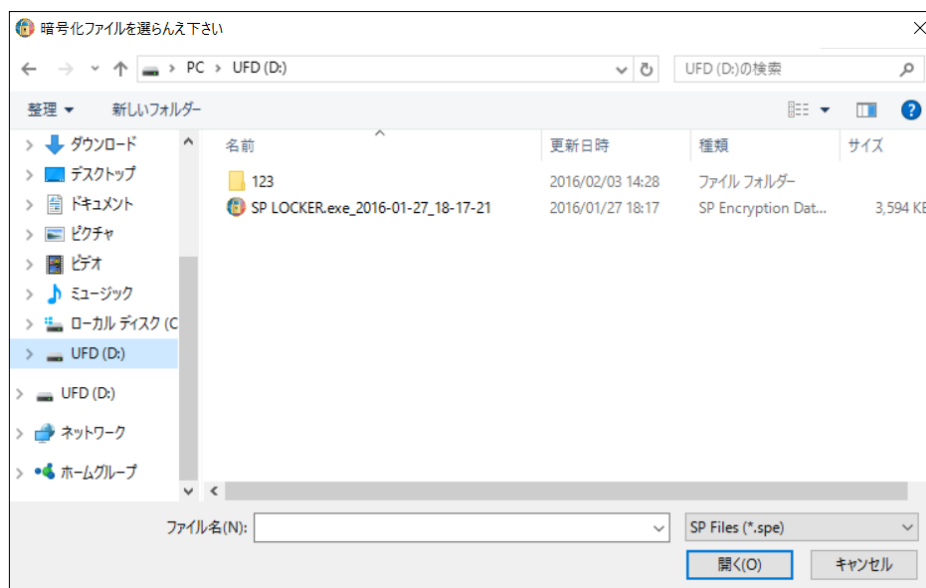


6.3

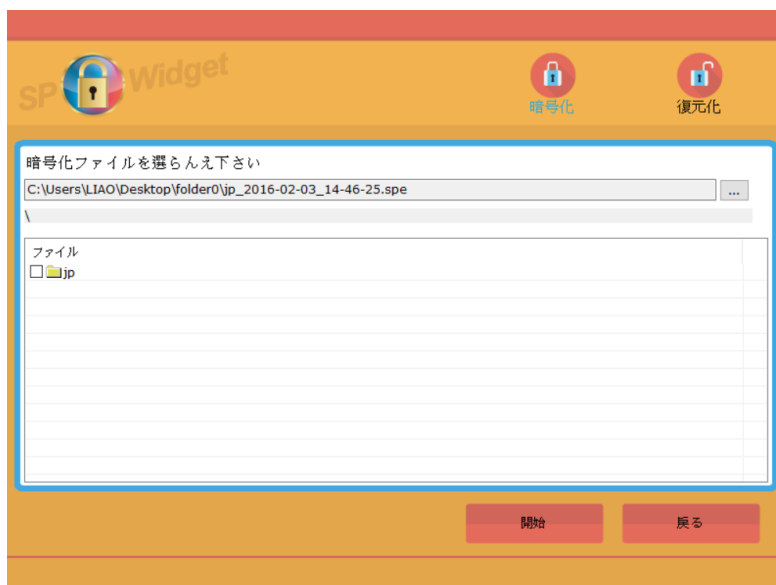
右上の“復元化”をクリックすると復元化（解読）機能が開始されます。

**6.4**

暗号化されたファイルを選択するには赤枠の参照ボタンを押してください。
(6.4,6.5 参照)

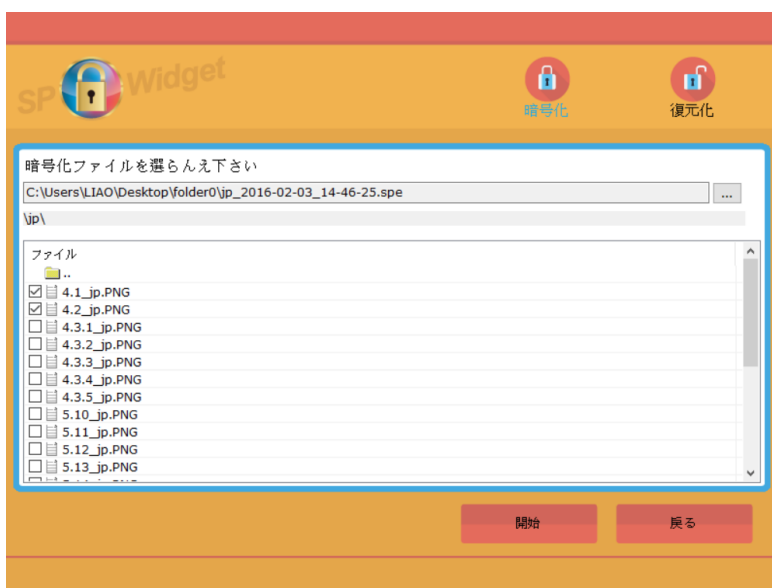
**6.5**

選択されたファイルが表示されます。(6.6.参照)



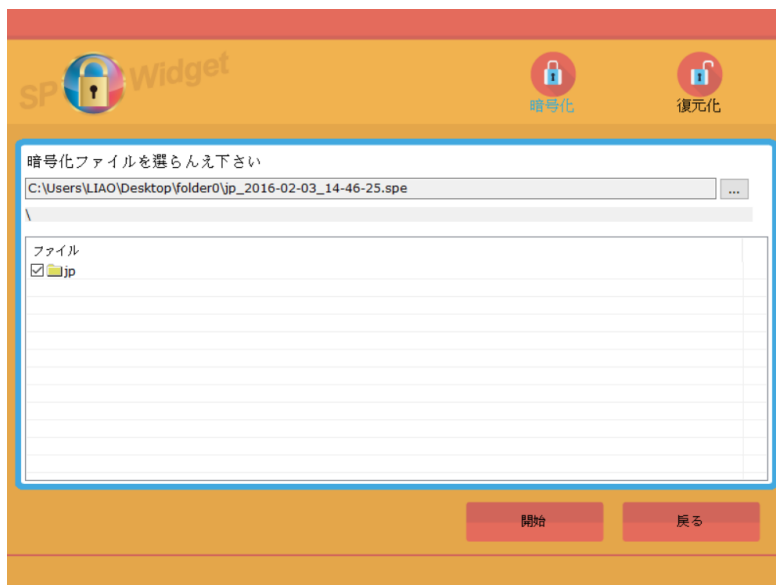
6.6

ファイルの内容を確認するにはフォルダアイコンをクリックしてください。(6.7.参照)



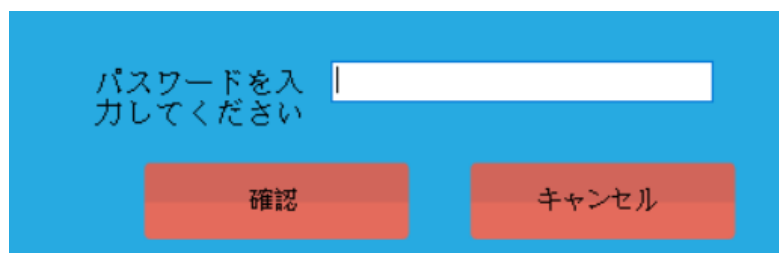
6.7

ドキュメントまたはファイルを選択し解読するには“開始”を押してください。（6.8.参照）



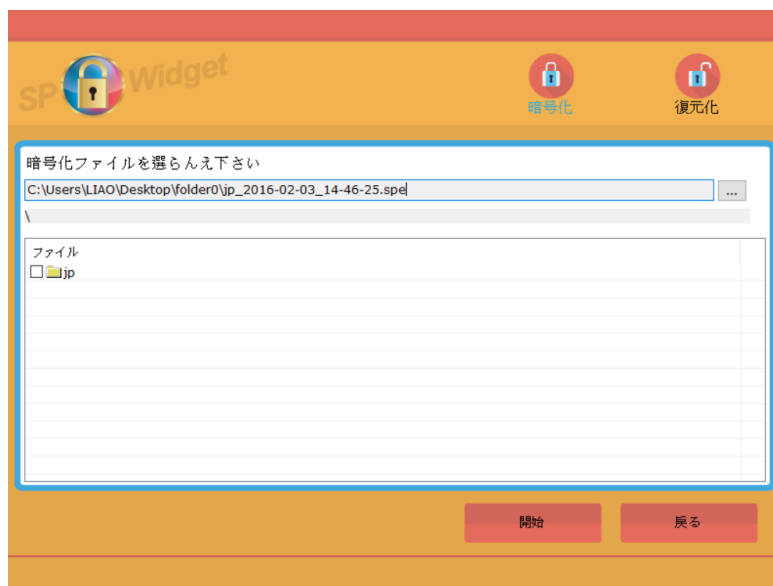
6.8

確認のため、パスワード入力画面が表示されます。パスワード入力し“確認”を押してください。（6.9.参照）



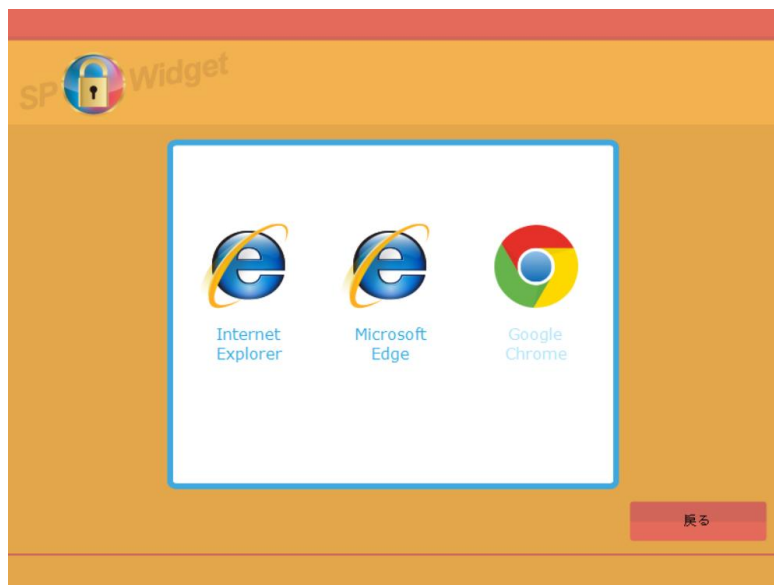
6.9

SP widget は他にも解読する方法があります。直接解読プログラムを開始するにはファイルの拡張子“spe”の文書を選択します。(6.10.参照)

**6.10**

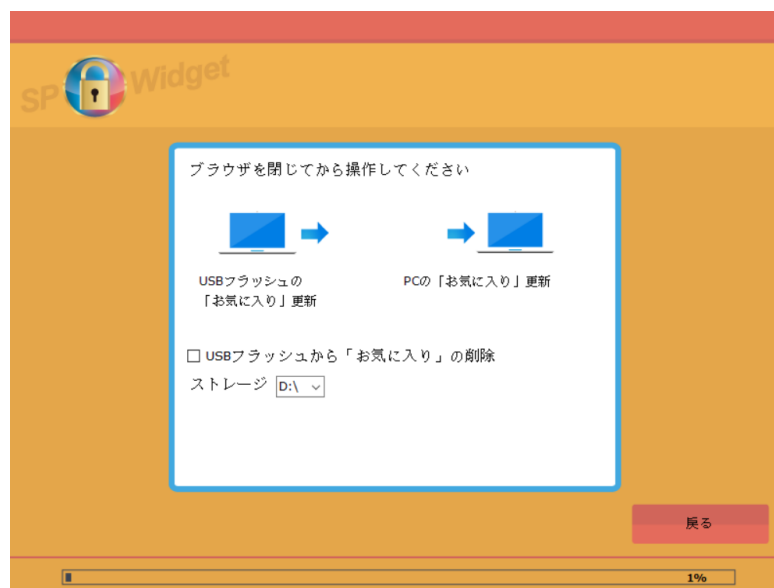
7. “お気に入りバックアップ”機能

“お気に入りのバックアップ”はユーザーのプロフィールのバックアップと復元でお気に入りを設定します。“お気に入りのバックアップ”をクリックしバックアップをとり
たいブラウザを選択してください。(7.1.参照)



7.1

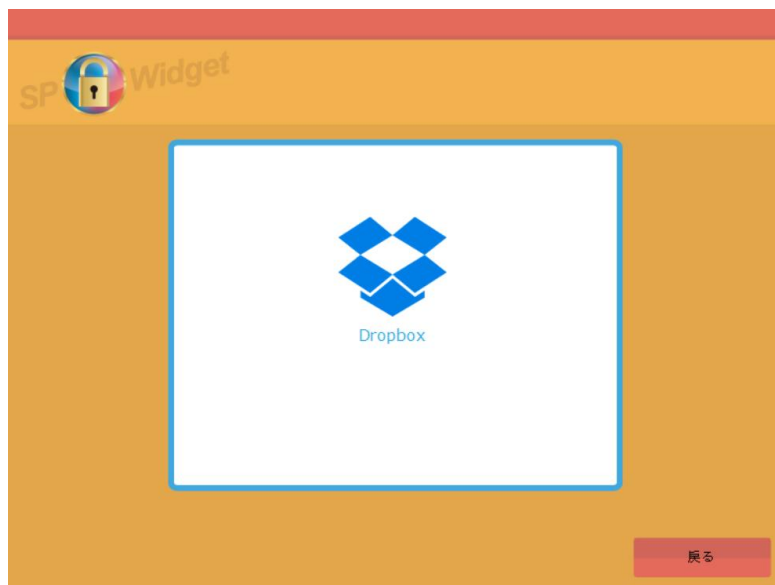
バックアップと復元の前にブラウザを閉じてください。それからストレージディスクを選択し“バックアップ”か“復元”をおしてください。チェックボックスにチェックすると、USB フラッシュに保存されたデータを削除することができます。(7.2.参照)



7.2

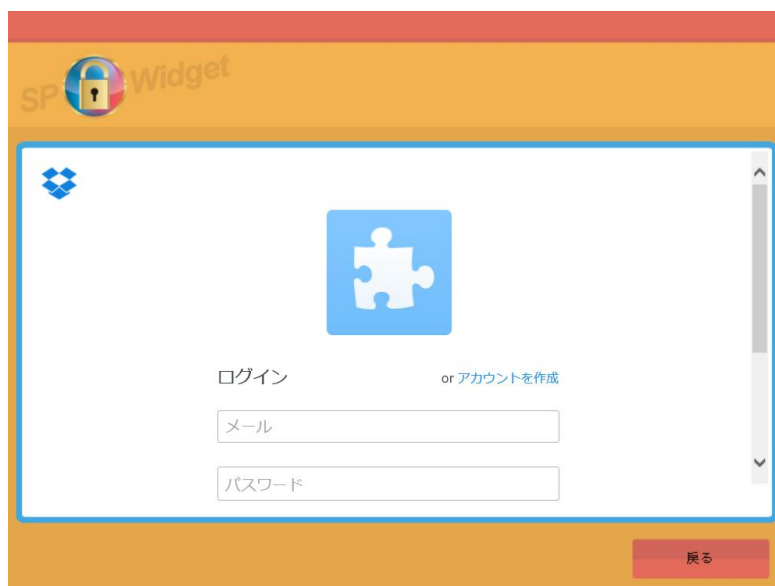
8. “クラウド上のデータ”機能

“クラウド上のデータ”をクリックするとドロップボックスが表示されます。
(8.1.参照)



8.1

ドロップボックスのログインページにユーザーアカウントとパスワードを入力してください。(8.2.参照)



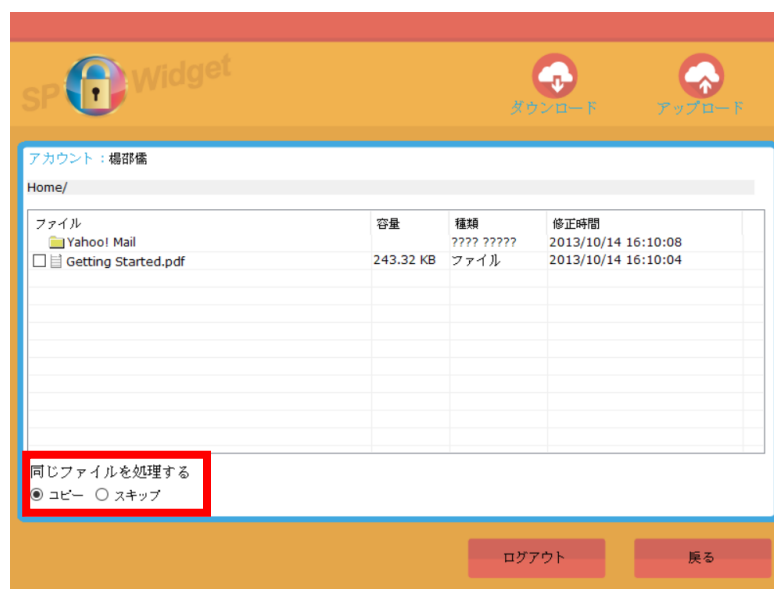
8.2

ドロップボックスへのアクセスを“許可”してください。(8.3.参照)



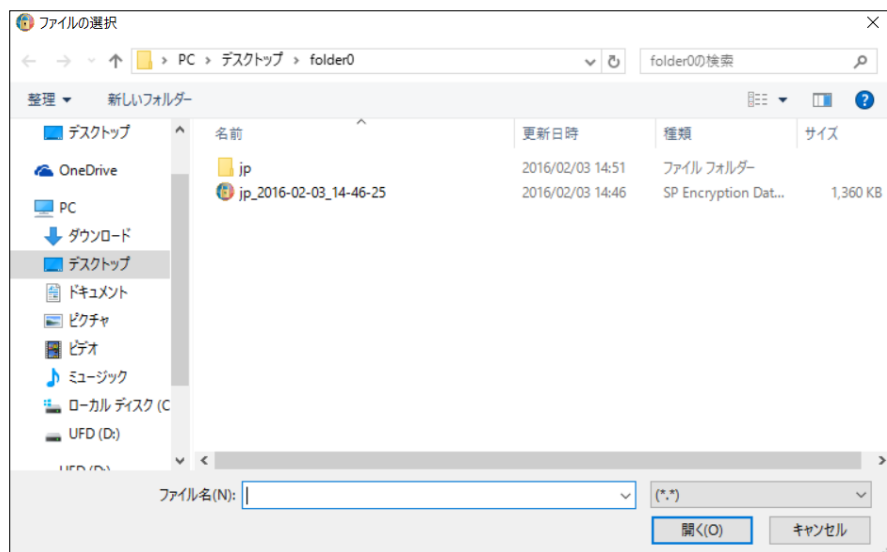
8.3

ログイン後 SP Widget がユーザー情報を取得するまでお待ちください。同じファイル名がある場合、操作が必要になりますのでご注意ください。(8.4.参照)



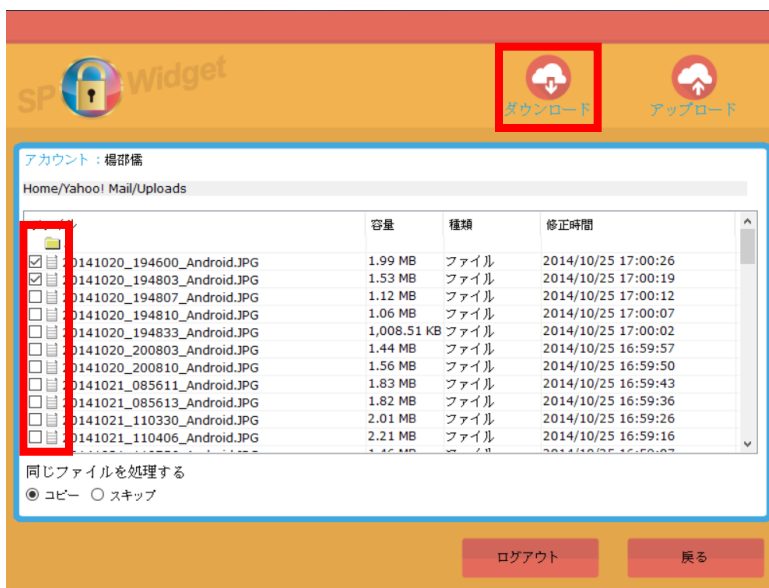
8.4

ドロップボックスにファイルをアップロードするには、このプログラムに直接ドキュメントやファイルをドラッグすることができます。または“アップロード”をクリックしアップロードしたいファイルを選択します。(8.5.参照)



8.5

ドロップボックスからファイルをダウンロードするにはドキュメントを選択し“ダウンロード”をクリックします。(8.6.参照)



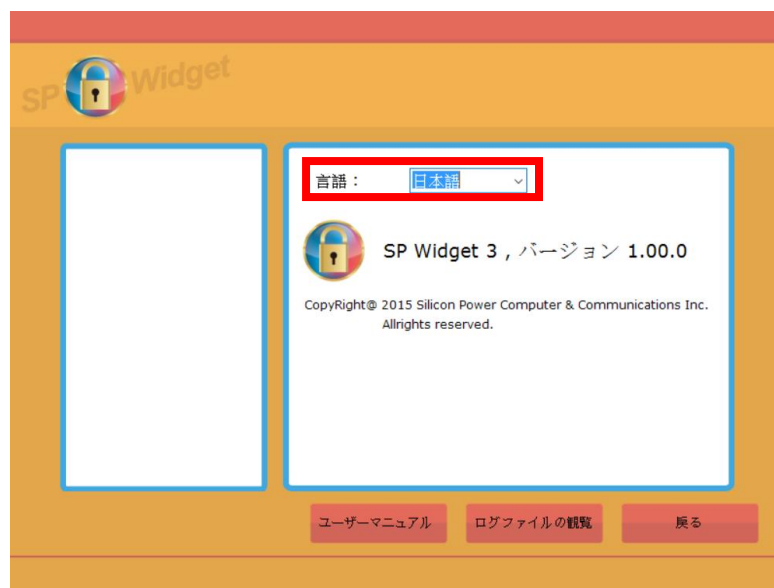
8.6

“戻る”をクリックすることにより次回ログインが不要になります。ログアウトした場合は次回ログインが必要です。

9. “セット”機能

製品情報を表示するには“セット”アイコンをクリックします。このセクションでは次の操作ができます。(9.1.参照)

- ◆ 操作 1: 言語選択
- ◆ 操作 2: ユーザーマニュアルを閲覧するか、シリコンパワーのウェブサイトよりダウンロードします。



9.1